

# 令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 消防課  
 担当名: 総務・企画担当  
 内線: 548-5411

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
p8	消防学校施設・設備整備等事業費			一般会計	総務費	防災費	消防防災費	消防学校費		
事業期間	平成16年度～	根拠法令	消防組織法第29条及び51条		針路	01	災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	11	
					分野施策	0101	危機管理・防災体制の再構築	SDGsターゲット	11-1, 11-2, 11-3,	
1 事業概要	教育訓練の実施に当たっては、安全性を確保し、実践に即した教育訓練を実施する必要がある。そのため、保有資器材を点検・修繕し、老朽化した資器材を更新する。教育環境の整備を行うため、老朽化した学校設備の更新・整備を行う。 ア 消防学校教育訓練資器材充実強化 △45,018千円 イ 訓練施設の改修・設備整備費 △21千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 教育訓練資器材整備に要する経費 △45,018千円 (ア) 消防ポンプ車更新 △44,056千円 (イ) 警防・救助訓練資器材 △795千円 (ウ) 訓練用資器材修繕 △167千円 イ 訓練施設の改修・設備整備に要する経費 △21千円 (ア) 実火災訓練用資器材 △21千円 (2) 事業計画 ア 令和7年度 消防ポンプ車更新 イ 令和8年度 水槽付き消防ポンプ車更新 ウ 令和9年度 消防ポンプ車更新 (3) 事業効果 社会の消防に対する需要に的確に対応できるよう、消防職員の技術を向上させることで、災害等から県民の生命・財産を守り、県民の安心安全に資することができる。 【活動指標(アウトプット)】 消防職員及び消防団員の教育訓練の実施 【成果指標(アウトカム)】 施設・設備、資器材を良好に保つことにより、実災害時に置ける実践に即した教育訓練を安全性を確保した上で実施できる体制を整備 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 高度・特別高度救助訓練において、埼玉県央広域消防本部の資器材を借用し、訓練を実施している。 (5) 補正予算の概要 ア 消防ポンプ自動車の購入延期による減額 (△44,056千円) イ 入札差金による減額 (△29千円) ウ 経費節約による減額 (△954千円)						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×5.5人=52,250千円										
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
		県債								
決定額	△45,039	△44,000						△1,039	9,084	
現計額	54,123	44,000						10,123		

## 事業内訳書

事業名	消防学校施設・設備整備等事業費		
単位事業名	消防学校教育訓練資器材充実強化	予算額	△ 45,018千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 総務債	△44,000	—	消防学校施設整備事業債
一般財源	△1,018	—	
合計	△45,018	—	

### ○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△902	—	経費節約による減
役務費	△31	—	経費節約による減
備品購入費	△44,047	—	消防ポンプ自動車の購入延期による減 (△44,018千円) 入札差金による減 (△29千円)
公課費	△38	—	消防ポンプ自動車の購入延期による減
合計	△45,018	—	

単位事業名	訓練施設の改修整備に要する経費	予算額	△ 21千円
-------	-----------------	-----	--------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△21	—	
合計	△21	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△21	—	経費節約による減
合計	△21	—	